

農林水産大臣賞

さかたに

酒谷地区むらおこし推進協議会（宮崎県日南市）

にちなん

「自分たちの地域は自分たちで作る」をモットーに、自主財源を確保しながら「小さな自治」を実践。

1. 地区の概要

酒谷地区は日南市の北西部に位置し、昭和31年までは酒谷村だった地域であり、周辺を山々に囲まれ山村の原風景を色濃く残している。

2. 団体の概要

酒谷地区むらおこし推進協議会は、高齢化・若者の減少等による地区の将来への危機感から、住民による1年間の協議を経て平成5年に発足。自治会、小学校、道の駅酒谷、坂元棚田保存会など多様な団体で構成し、「自分たちの地域は自分たちで作る」の理念のもと、全世帯と道の駅酒谷が協力金を拠出しながら活動をしている。

3. 団体の取り組み

○日本の棚田百選「坂元棚田」を、棚田オーナー制度、都市農村交流・大学の研究の場としての活用をとおして保全するとともに、棚田米などの販売活動により酒谷産の農林産物を求める酒谷ファンを拡大している。

○道の駅酒谷は、酒谷産農林産物の販売、地区住民の雇用にこだわることで、利用客数を維持し、製造する草だんごの売上は年間2千万円を超えており、女性・高齢者の活躍、雇用の場の創出につながっている。

○防犯巡回指導や見守り活動を兼ねた弁当宅配サービスなど、住民が安心して住み続けられるための福祉サービスを提供している。

○酒谷を自信と誇りの持てる地域にするため、小中学生等を交えた伝統芸能・郷土料理の継承活動をしている。



棚田オーナーによる稲刈り



年間20万人が利用する道の駅酒谷



草だんごをつくる道の駅職員